



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 共同ピーアール株式会社

コード番号 2436 URL <https://www.kyodo-pr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷 鉄也

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役コーポレート本部本部長 (氏名) 西井 雅人 TEL 03-3571-5172

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,321	△14.9	28	△88.6	19	△92.1	△72	-
2019年12月期第2四半期	2,728	6.8	249	10.3	249	11.1	207	12.5

（注）包括利益 2020年12月期第2四半期 △71百万円（-％） 2019年12月期第2四半期 209百万円（14.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△18.15	-
2019年12月期第2四半期	52.07	48.87

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,725	1,773	64.8
2019年12月期	2,814	1,901	67.3

（参考）自己資本 2020年12月期第2四半期 1,766百万円 2019年12月期 1,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	△21.8	100	△79.9	92	△81.5	△29	-	△7.31
	～ 5,000	△13.2	～ 180	△64.0	～ 172	△65.5	～ 24	△93.5	～ 6.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期 2 Q	4,091,796株	2019年12月期	4,086,996株
2020年12月期 2 Q	116,611株	2019年12月期	91,317株
2020年12月期 2 Q	3,992,385株	2019年12月期 2 Q	3,985,919株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要の減少や輸出の大幅な減少、個人消費活動も大きく低下したことから、大幅な落ち込みとなりました。

こうした中で、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、新規リテイナー顧客の獲得と、新規顧客及び既存顧客からのオプション&スポット案件の獲得に注力いたしました。

リテイナーに関しては、3月までの契約満了によるリテイナー契約終了や新型コロナウイルス感染症の影響を受け4月以降に観光業等の顧客の解約があったことから、リテイナー契約先数が前年同期比減となりましたが、外資系顧客獲得によりリテイナー売上高は前年同期比増となりました。オプション&スポット案件の売上高については、新型コロナウイルス感染リスク拡大によるイベント自粛や映画の公開延期等により、前年同期に比べ減少いたしました。ペイドパブリシティ案件の売上高においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により案件が減少し、前年同期に比べ減少しました。これらの結果、売上高は前年同期を407百万円下回りました。

利益面につきましては、売上高減少に伴い、売上総利益が前年同期に比べ152百万円減少いたしました。また、前年同期に比べ、株式会社アティカスが当期から連結対象会社になったことにより給与手当、支払手数料、のれん償却等の増加や地代家賃、支払手数料等の管理費が増加し、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ68百万円増加し、営業利益は、前年同期に比べ221百万円減少の28百万円となりました。投資有価証券評価損による特別損失77百万円を計上したことにより、税金等調整前四半期純損失は57百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,321百万円(前年同期比14.9%減)、営業利益28百万円(前年同期比88.6%減)、経常利益19百万円(前年同期比92.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失72百万円(前年同期は207百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及び受取手形が364百万円、未成業支出金が54百万円減少した一方で、現金及び預金が377百万円、その他に含まれる前渡金が47百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は537百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が101百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は768百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が65百万円、賞与引当金が57百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が94百万円、その他に含まれる未払金が42百万円、その他に含まれる未払費用が62百万円等が減少したこと等によるものであります。固定負債は183百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が117百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は951百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が112百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.8%(前連結会計年度末は67.3%)となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ403百万円増加し、1,366百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は218百万円（前年同四半期間は121百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の減少99百万円、未払費用の減少64百万円、法人税等の支払64百万円、税金等調整前四半期純損失の計上57百万円といった資金減少要因があった一方で、投資有価証券評価損77百万円、賞与引当金の増加57百万円、売上債権の減少369百万円、たな卸資産の減少57百万円といった資金増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は40百万円（前年同四半期間は101百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出17百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出25百万円、関係会社株式の取得による支出21百万円といった資金減少要因があった一方で、定期預金の払戻による収入49百万円、投資有価証券の売却による収入25百万円、保険解約による収入24百万円といった資金増加要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は144百万円（前年同四半期間は23百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出124百万円、自己株式の取得による支出30百万円、配当金の支払39百万円といった資金減少要因があった一方で、短期借入の増額50百万円、長期借入による収入295百万円といった資金増加要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想について、2020年8月12日に公表した「2020年12月期業績予想に関するお知らせ」に記載のとおりです。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,032,178	1,409,873
受取手形及び売掛金	1,021,356	656,928
未成業務支出金	98,671	44,426
その他	45,738	91,940
貸倒引当金	△14,233	△14,760
流動資産合計	2,183,711	2,188,408
固定資産		
有形固定資産	95,926	88,082
無形固定資産	49,677	66,753
投資その他の資産		
投資有価証券	243,856	142,233
関係会社株式	445	16,413
破産更生債権等	132,954	132,954
繰延税金資産	55,917	58,748
その他	185,438	164,848
貸倒引当金	△132,954	△132,954
投資その他の資産合計	485,656	382,243
固定資産合計	631,260	537,079
資産合計	2,814,971	2,725,487
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,757	207,998
1年内返済予定の長期借入金	107,980	173,684
未払法人税等	64,806	29,423
前受金	68,176	81,145
賞与引当金	—	57,084
その他	304,004	219,342
流動負債合計	847,724	768,677
固定負債		
長期借入金	32,438	150,265
役員退職慰労引当金	15,633	15,712
退職給付に係る負債	13,383	14,181
その他	4,754	2,955
固定負債合計	66,209	183,114
負債合計	913,933	951,792

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,318	508,124
資本剰余金	448,073	458,566
利益剰余金	936,275	823,850
自己株式	△16,261	△42,593
株主資本合計	1,875,405	1,747,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,981	22,664
退職給付に係る調整累計額	△5,042	△4,227
その他の包括利益累計額合計	17,938	18,436
新株予約権	7,694	7,310
純資産合計	1,901,038	1,773,695
負債純資産合計	2,814,971	2,725,487

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
売上高	2,728,036	2,321,030
売上原価	1,314,830	1,060,795
売上総利益	1,413,205	1,260,235
販売費及び一般管理費	1,163,264	1,231,735
営業利益	249,941	28,500
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	265	197
受取賃貸料	5,146	4,755
その他	238	678
営業外収益合計	5,660	5,646
営業外費用		
支払利息	1,923	1,092
不動産賃貸費用	2,294	2,117
売上割引	537	273
為替差損	1,208	2,449
持分法による投資損失	—	5,672
その他	—	2,809
営業外費用合計	5,964	14,414
経常利益	249,636	19,732
特別損失		
投資有価証券評価損	—	77,269
特別損失合計	—	77,269
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	249,636	△57,536
法人税、住民税及び事業税	41,489	17,982
法人税等調整額	604	△3,051
法人税等合計	42,094	14,931
四半期純利益又は四半期純損失（△）	207,541	△72,468
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	207,541	△72,468

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	207,541	△72,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,077	△317
退職給付に係る調整額	1,252	815
その他の包括利益合計	2,329	498
四半期包括利益	209,871	△71,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,871	△71,970

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	249,636	△57,536
減価償却費	13,371	14,640
のれん償却額	1,333	9,956
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,268	86
賞与引当金の増減額(△は減少)	56,680	57,084
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△5,102
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,758	79
退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少)	△5,346	△303
受取利息及び受取配当金	△275	△211
支払利息	1,923	1,092
持分法による投資損益(△は益)	—	5,672
投資有価証券評価損益(△は益)	—	77,269
売上債権の増減額(△は増加)	△102,238	369,418
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,730	57,036
仕入債務の増減額(△は減少)	1,262	△99,160
未払費用の増減額(△は減少)	△105,544	△64,074
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,366	△10,151
前受金の増減額(△は減少)	138,095	1,449
その他	△62,344	△73,305
小計	184,943	283,940
利息及び配当金の受取額	297	94
利息の支払額	△1,966	△1,121
法人税等の支払額	△61,389	△64,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,884	218,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△49,510	△17,311
定期預金の払戻による収入	49,509	49,510
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,204	△25,003
関係会社株式の取得による支出	—	△21,640
投資有価証券の取得による支出	△61,598	△1,854
投資有価証券の売却による収入	—	25,750
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	8,130
貸付金の回収による収入	180	—
敷金及び保証金の差入による支出	△30	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	200
保険積立金の積立による支出	△1,648	△1,463
保険積立金の解約による収入	1,108	24,418
その他	△20,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,194	40,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	50,000
長期借入れによる収入	100,000	295,000
長期借入金の返済による支出	△101,482	△124,299
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,741	△7,741
ストックオプションの行使による収入	2,457	1,228
自己株式の取得による支出	—	△30,142
配当金の支払額	△17,148	△39,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,914	144,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	325
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,226	403,830
現金及び現金同等物の期首残高	943,518	962,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	940,291	1,366,688

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染拡大による影響の規模及び期間が不透明なことから、経済の回復には時間を要すると想定され、先行きが見通せない状況が継続すると認識しております。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難ですが、2020年12月期の下期は、新型コロナウイルス感染症による業績への影響を受けつつも、第4四半期にございますクリスマスや年末商戦に伴うPR需要を見込めるものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大や収束による影響は不確定要素が多く、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、PR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、PR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。